

## ■指定校制推薦入学制度

### ■ 制度の特色

本学が依頼した高等学校または中等教育学校の学校長の推薦にもとづき、学生を受け入れる入学制度である。高等学校または中等教育学校に求める推薦条件のうち、「内発的な関心により読書し、物事をゆっくり時間をかけて粘り強く考え、深く理解しようと努め、それを明快に表現できる人物であること」にとりわけ特徴が示されている。制度における取り組みを教育活動の一環として捉え、文章能力の錬成を図る意味をもつことから、総合型選抜入試と並んで大谷大学の教育理念を反映した入学制度である。

### ■ 取り組み内容とその意図

指定校制推薦入学制度は、以下の内容にて構成される。小論文作成は、2025年度入学制度までは選考日当日に面接とともに実施していたが、2026年度入学制度からは入学前教育プログラムへ移行した。課題図書の本読と小論文作成に時間をかけ、より充実した学習成果に期待することが目的である。

#### A. 課題図書の本読

志願者へ受験票とともに課題図書と「読書ガイド」等を送付し、志願者が時間をかけて自分の力で課題図書の本読し、考えを十分に深めることが出来るようにした。

#### B. 事前講義

「課題図書の本読方及び小論文作成に関する講義」の動画を志願者へWeb配信した。講義は課題図書の本読方や小論文作成のポイントを確認する内容であった。

#### C. 面接

出願書類とともに提出された志望理由書などに基づいて行われた。そのため、志望理由書は本頁の「受験生へのアドバイス」を確認のうえ、しっかりと作成してほしい。2026年度入学制度の面接では課題図書本読の進捗状況などを確認した。詳しくは、各指定校へ送付する実施要項を確認してほしい。

#### D. 小論文作成及び小論文指導（入学前教育プログラムにて実施）

##### ①小論文作成

指定校制推薦入学制度では、入学前教育プログラムとして課題図書の内容に基づいた小論文作成を必須としている。課題図書の本読、内容理解、それらを根拠とした自身の考えを表す文章能力は、大学入学後に必要となるためである。

##### ②小論文指導

作成された小論文には、学科教員が添削を加え、アドバイス・コメントを記入して出身高等学校等を通じて返却した。自身の学習上の長所や短所を知り、入学までの課題として取り組むことで入学前に準備できるようにした。

### ■ 受験生へのアドバイス

近年の課題図書は社会問題を扱ったものや自叙伝などであった。小論文の設問は、課題図書の本読のうえ、本全体を見渡し、大まかに内容を把握する力などが要求される。1冊の課題図書を自力で読み通す力は、大学入学後にも必要となるため、読書の習慣を身につけておいてほしい。小論文は、要約と意見論述といった書き方の基本的なルールを押さえるのも大切だが、実際に書いてみて繰り返しトレーニングを積むことが最大のポイントとなる。対策としては、オープンキャンパスにて実施される「小論文型入試セミナー」などを積極的に活用してほしい。

また、面接では志望する学科・コースでの学びについて、どれだけ理解しているかが鍵になってくる。自らの学びの関心が志望する学科・コースの内容と合致していることや取得したいと思っている資格・免許がその学科・コースで取得可能かどうかを確認しておくことが必須である。また、志望する学科・コースの求める学生像や学びと合致しているかも十分確認しておくことが重要である。最善の対策は、オープンキャンパス<sup>\*</sup>に参加することであり、志望する学科・コースの個別相談ブースにて自分自身でしっかりと確かめておいてほしい。

※オープンキャンパスで実施する入試対策などのプログラム内容については、大学ホームページにて確認すること。